

「京都スマート情報化プラン～府民ニーズに迅速に応える府庁づくり～」
 (中間案)に係るパブリックコメントの要旨及びこれに対する府の考え方

項目	意見の要旨	府の考え方
<p>①府民の方々のニーズに迅速、的確に対応するため、モバイル環境を活用し、現地現場での職員の課題解決能力の向上を実現</p>	<p>○住民に接する職員が何らかの端末を持っていないこと自体が時代から遅れている。行政も民間の営業職と同じように説明のためのパソコンやタブレットは必須だと思われる。</p>	<p>□本府においても、最新のICTを用いた時代にふさわしい対応が必要と考えており、現地現場においても、迅速な資料検索による的確な対応、遠隔テレビ会議システムを用いた迅速な意思決定が可能となるだけでなく、担当外業務についても一定の対応が可能となるモバイル環境の整備を図って参りたいと考えております。</p>
	<p>○「現地現場で判断する」ということが、迅速、的確な判断につながるのは、高い専門知識や的確な判断力を持った職員であることが前提であり、職員の教育、人材育成による職員の質の向上についてプランに明記すべき。</p>	<p>□ご指摘のとおり、現地現場で迅速、的確な判断を行うためには、職員の資質の向上が大切であり、今後とも研修等を通じて、職員の教育、育成に取り組んで参りたいと考えております。</p>
<p>②被災時等でも府の行政機能を維持するため、モバイル環境を活用し、職員が能力を最大限発揮可能な業務継続体制を実現</p>	<p>○介護等で出勤が困難な職員等に在宅勤務を実施とあるが、世間でワークライフバランスが推進されている中、京都府の労務管理は遅れているのではないか。</p>	<p>□本府においては、これまでから、育児短時間勤務や介護休暇制度の拡充等、職員のワークライフバランスの向上を図る取組に力をいれてきております。 今回のモバイル端末等を活用した在宅勤務によって、介護等を行う職員の働き方の選択肢を広げることができると考えており、ワークライフバランスを確保しながら府民サービスを向上できるよう効果を検証した上で、順次拡大を図って参りたいと考えております。</p>
<p>③さらなる府民満足度向上のため、府民の方々に寄り添い、お役に立つ情報をお届けする「コンシェルジュサービス」を導入し、新たな時代に即したサービスを</p>	<p>○「コンシェルジュサービス」とあるが、もうすぐ国がマイナンバーの関係で同じようなことをしようとしているのに、府だけで似たようなことをしても意味がない。税金の無駄になるのでやめた方がいいのではないか。</p>	<p>□国におけるマイ・ポータル導入の動向を十分に見極めつつ、それらと整合を図りながら、コンシェルジュのようなきめ細やかな気配りのできる情報提供サービスを整備し、府所管の資格・免許証等の更新手続き情報等の提供を検討して参りたいと考えております。</p>
	<p>○高齢になると、だんだん記憶力や認知機能が衰えてくるため、高齢者等に配慮し、各種資格・免許に関する最新の情報をメール等でお届けす</p>	<p>□ご指摘のとおり、高齢者等への配慮は重要であると考えており、府が所管する資格・免許証等に係る更新手続き情報等を高齢の方にもわかりやすくお知らせす</p>

実現

るサービスの導入を進めていただき
たい。

るサービスを検討して参りたいと考えて
おります。